

緊急：ハワイの記者が、指向的エネルギー兵器が使われた 証拠を示す

DEW（一定方向へのエネルギー照射兵器）が使われ、政府が隠蔽
<https://www.infowars.com/posts/maui-journalist-warns-of-a-complete-authoritarian-takeover/>

Alex Jones Show

August 29, 2023

⇒あの悲劇的なハワイの大火がどうして起こったのか、どうして政府はこの破壊に理屈をつけようとするのか？

Eric West がアレックス・ジョーンズ・ショーに参加し、この恐ろしい（マウイ島）ラハイナの大悲劇を招いた、演出された惨事の身の毛もよだつ真実を暴露する。

[Gretchain による注]

先の記事で私の予測した通り、これは Directed Energy Weapon (指向的エネルギー武器) によるもので、カリフォルニアのものと同じだった。焼けただれた車から金属が溶けて流れ出し、立木はほぼ無傷という不思議なものであることが、このビデオでわかる。エリック・ウェストは、やはり子供の犠牲者を強調している。2000 人と言っていたと思う。なぜこういうことが、**そもそも人間に可能か**という疑問が起こるのであろう。Inhuman (非人間的) とは、究極的にどういう意味か？ **なぜそこまでしなければならないか？** それに対する回答が今、我々自身に向って求められている。あなたはどうか考え、どう行動するのか？ それとも何もしないのか？

報道管制：ラハイナの爆心地調査と清掃のため、黒いカーテンが張り巡らされる

<https://www.infowars.com/posts/media-blackout-black-curtains-go-up-in-lahaina-blocking-view-of-ground-zero-investigation-clean-up/>

Adan Salazar

August 28, 2023

⇒ラハイナの公道の1つ、「フロント通り」に、フェンスやカーテンが張り巡らされ、行われている活動を見せないように遮蔽している。

大火に破壊されたハワイのラハイナからの動画から、作業員たちが黒いカーテンを延々と張り巡らせて、何が行われているかを市民に見せないように隠している様子が見え、いまだに何百という人々が行方不明であると、伝えられている。

市民記者 Geoff Cygnus の好意による TikTok のビデオは、何マイルにも及んで張られたフェンスや黒いカーテンが、フロント通りを目隠ししている様子を映している。

何マイルもの黒い塀がラハイナで築かれている。爆心地は今、バイデン・カーテンの背後に隠された。

「現在、メディアも他の誰も、何が行われているかを見られないように確保することに、たいへんな労力が払われているようだ」と、Cygnus は最近のビデオで報告している。「今までここになかった、何マイルも続くこの黒いフェンスは、爆心地を隠すもので、誰も道路から入って、中で何が行われているかを見られないように、誰もそこに入って写真も撮れないようになっている。」

それだけでなく、シグナスは、道路の側からこの新しい黒いカーテンを撮影しようとする、民兵のメンバーから立ち去るよう命令されたと言い、いかに政府が敏感になって、この作業を隠そうとしているかがわかるという。

「何も隠すものがないなら、なぜ彼らはこんなことをするのか？」と、ある X ユーザーは訊ねた。

非常線を張られたこのゾーンのニュースは、何百人というラハイナの行方不明の住人について、疑惑が流れている最中のもので、多数のジャーナリストが、この地域で写真を撮ったりドローンを飛ばしたりするなど命令され、FEMA はそこで働く人たちに、写真やビデオを撮らないよう忠告していた。<https://thepostmillennial.com/revealed-maui-officials-tried-to-enforce-media-blackout-to-block-footage-from-devastating-wildfires>
<https://www.thedronegirl.com/2023/08/22/lahaina-hawaii/>

一方、マウイの市長は、市民を信頼する様子が全くなく、それどころか、行方不明者の中に何人の子どもがいるかの問題について、記者ブリーフィングを打ち切ると脅かした。<https://www.infowars.com/posts/maui-mayor-tries-to-shut-down-press-conference-after-man-asks-how-many-children-are-missing/>

その一方で、嫌なうわさが流れ、8月8日に大火が起こったときには、警官がバリケードを築いた上で、人々を畏にかけ、安全な場所へ逃れられないようにしたと言われ、人々が災害で死んだのか、それとも政府によって殺されたのか、というミステリーに拍車をかけた。<https://www.infowars.com/posts/were-all-trapped-here-theyre-blocking-off-all-exits-driver-furious-as-police-vehicle-speeds-past-him-to-trap-residents-fleeing-lahaina-wildfires>

ご注意：——グローバルリストはますます Infowars への攻撃を盛んにしています。諸々の危険が今ほど高まったことはありません！ ご協力を願います。

著者の論説については、Twitter, Facebook, Gab, Minds, Truth Social を調べてください。

[訳者 Greatchain 注]

今回のマウイ島の惨劇は、23年前の9・11テロに匹敵する事件と言ってよいだろう。ただ、現在も9・11は解決しているわけではない。今回のこの事件も、バイデン政府の単なる軽率さによって起こったものではない。何者かこれを起こそうとして起こした、犯罪者による事件であることが、次第に明らかになった。そのやり口は尋常ではない。それはしばしば Shock and Awe と呼ばれる、恐怖によって人々を威嚇し、議論も質問もさせず、暴力によって押し黙らせる方法を取った。

これはこの者たちが、歴史上何度かやってきたものである。しかしこの事件は、彼ら自身に怖いものがあつたことを物語る。彼らは何を怖れているのか？ サイコパスでかつ横柄な彼らでも、怖れるものがあつた。おそらくそれはトランプ大統領だった。特にトランプの、自分が当選すれば「子供の敵どもを処刑する」という公言だったと思われる。Deep State といわれる、泥沼を連想させる彼らの犯罪行為の中でも、その最たるものは子どもに対する犯罪であろう。

そこでもしトランプを当選させたら、彼らは普通には生きていけないことになる。したがって、トランプを生かしてはおけない、トランプは殺すか追放しなければならない、ということになった。そのためには、世界を極端なテロで震撼させ、理性を奪うほどの恐怖を与えねばならない。それが彼らの取った方法だったと思われる。そしてこれは次々に起こらねばならない。世界に考える暇を与えてはならない。だからもちろん、これが終わりでない。9月15日と言われている、何らかの次の事件は必ず起こるだろう。

とろでこの大火を、メディアは自然発生の「山火事」だと言っている。しかしそのウソはいつまで続けられるだろうか？ 我々一般大衆も、そういつまでも騙されなくなっている。そしてこのメディアのウソの罪悪は計り知れない。人々は、普通の山火事が起こって何人かの人が死んだだけだと思うだろう。現実には、まれに見る残虐な、大勢の子どもを焼き殺す火災が人為的に起こされ、その隠ぺいに異常な努力が払われている**可能性**があるのである。あくまで正確な事実は今のところわからない。しかし状況証拠ははっきりしている。これに復讐せよ、と私は言わない。ただ我々は事実を知る努力をしなければならず、その責任がある。もし我々が「大げさに騒ぐな、そんなことは普通に起こることだ」とか、「責任ある立派な人たちがウソをつくはずがない」と言って一蹴するなら、蓄積され晴れることのない、この地球上の大きな恨みが、いつか我々に向って復讐する日があるかもしれないことを知るべきである。